

## 『終わりのなき旅』の始まり

大東消防署西分署 消防隊  
消防士 清家 紳吾（令和元年度入職）

### 「憧れへの挑戦」

私は自宅から消防署が近かったこともあり、幼い頃から消防車が好きで母に毎日のように消防車を見に連れて行ってもらいました。物心がつく前から消防という職業が身近にあったので憧れの存在でした。

私が消防士を目指す大きな分岐点となったのが、中学生の時に職業体験を大東消防署にて体験したことです。様々な体験をさせてもらい、内容が濃く記憶に残る体験でした。その頃はまだまだ憧れでしたが、将来の仕事を考え出すにつれて、頭に浮かぶのは消防士になりたい自分でした。

生まれ育った町で消防士になりたい気持ちが強くあり、地元で恩返しができる良い仕事だと思い受験しました。

### 「チームワークの重要性」

今までの生活では経験することのない日常が続く日々です。

消防学校を修業し、2度目の当直中に火災出場しました。そこで消防士になった実感が一気に湧き、自分のしている仕事の責任の重さを感じる事となりました。消防士は人の命が左右される場面で活動しなければいけません。その一回一回にベストを尽くせるように日々訓練を行います。個人の能力もですが、チームワークの重要性を非常に感じます。活動をしていく中でコミュニケーションや隊長・他の隊員が今自分に何をして欲しいのかを感じ取って行動に移すことが大事です。それは普段の訓練の積み重ねで培っていくものだと思います。訓練をするたびに「もっとこうしたほうが良かったな」と様々な意見交換をし、更なるチームワークの強化に励んでいます。消防士としての成長に終わりはないと感じています。



配属されたばかりで、まだまだ分からないことだらけです。先輩の行動を見て学んでいくことで精一杯ですが、先輩方は優しく熱心に教えて下さり、成長しやすい環境を作っています。普段からも気軽に話しかけて下さり、新人職員にとって非常に働きやすく、本当に良い職場で働いていると実感しています。

### 「人の人生を守る職業」

採用試験では消防士になりたいという気持ちを全面に出して伝えて欲しいと思います。

消防学校の教官の言葉で「一つでも多くの人生を救える人に」という言葉がありました。目の前の人の人生を救うことが出来る職業は限られていると思います。皆さんが目指す道を真っすぐに志して欲しいです。

私自身採用試験の時は不安でいっぱいでした。当時は部活も現役だったため、空いた時間を活用して勉強していましたが、もっと勉強しないといけないと不安だらけでした。皆さんも限られた時間の中での挑戦だと思いますが、後悔の無いように頑張ってください。

消防士として一番大切なことは準備だと思います。採用試験までの準備を大切にしてください。

そして是非本番でベストを尽くして欲しいと思います。皆さんも一緒に大東市、四條畷市の市民の方々の人生を守っていきましょう。

